
「ひろの防災緑地」で町の賑わいと交流人口増大に寄与

～記念樹による森づくり「Present Tree in ひろの」里親募集～

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所(東京都千代田区、理事長:鈴木敦子)は、11年間継続運営してきた森づくりと地域振興を結びつける事業「Present Tree(プレゼントツリー)」を、東北被災地復興プロジェクト第3弾として、福島県双葉郡広野町における「浅見川地区防災緑地(通称:ひろの防災緑地)」の一面でスタート、本日より里親を募集いたします。(プロジェクト名「Present Tree in ひろの」)

「Present Tree in ひろの」では、防災緑地の一面に福島県地域在来の広葉樹を植え、2,000本分の苗木の里親を募集、町民と里親である都市部企業や市民との交流の機会を創出することにより、町に賑わいをとり戻し、広野町のさらなる復興と新しい双葉地域の創造に向けて、今後10年間、町民の皆さまとともに森の生育を見届けます。そのために本日、地元協働先として、ひろの防災緑地サポーターズクラブ(広野町、会長:鈴木正範)、広野町(町長:遠藤智)、福島県富岡土木事務所(所長:矢内誠一郎)と、当NPOとの間で、10年間の防災緑地活動協定書を締結します。

広野町は平成23年9月30日に「緊急時避難準備区域」が解除され、翌年3月には役場機能を町内に戻しました。平成27年3月に東京と仙台を結ぶ常磐自動車道が全線開通し、復興へ向けインフラ整備などは着実に進んでいます。しかしながら、町に戻り生活を再開された方々、あるいは戻りたいと願いを持ちながらも町を離れた生活が続く方々が共に願う「希望」とは、ふる里・広野町で震災前、あるいはそれ以上に元気な生活を取り戻すことです。

ひろの防災緑地は、延長約2km、面積10.7haの規模で整備が進められており、平成28年3月までに完成予定です。防災緑地とは、津波を減衰する防災機能や、自然とふれあう地域振興機能を有する施設ですが、ひろの防災緑地は、自然体験等様々なコミュニティ活動の場としての利活用や、地元のひろの防災緑地サポーターズクラブと多様な支援団体・民間企業との協働による賑わいづくりを目指した、全町民の復興のシンボルとしての役割を備えています。

「Present Tree in ひろの」は、1口1本3,500円を寄附することで苗木の里親となり、福島県双葉郡広野町のひろの防災緑地の一面にて行う植樹・育樹活動に10年間参加できます。寄附金は植樹やその後の保育管理などそれぞれの樹が大きく生長するために使用されます。今年3月6日実施予定の苗木の里親と町民との第1回交流イベントを皮切りに、継続的なイベント開催により植樹や育樹の作業を通して、町民と都市部市民との交流人口の増大と広野町の賑わいづくりに寄与していきたいと願っています。

本プロジェクトは、平成27年度復興庁「新しい東北先導モデル事業」に採択された「双葉八町村に春を呼ぶ! 広野わいわいプロジェクト※」の一環としての取り組みです。

※「双葉八町村に春を呼ぶ! 広野わいわいプロジェクト」とは

双葉郡八町村の南端に位置する広野町では、町民の帰還が未だ半数に留まっています。本プロジェクトは、防災緑地、平成27年に再開された二ツ沼総合公園、平成25年から有機綿の栽培を行っている畑を拠点に、植樹や交流、綿・果樹の六次化等に着手し、賑わいと仕事を創出し、地域主体の形成、町民帰還の促進とともに、双葉八町村復興の加速をめざすものです。

町民、NPO、首都圏住民、町、県といった多様な主体の連携による地域づくりが、被災地復興の先駆的な取り組みとして評価され、平成27年度「新しい東北先導モデル事業」に採択されました。



双葉八町村に春を呼ぶ!

福島県浜通り地方に位置する広野町。
津波被害にあった海岸部には、
防災のみならず地域振興の拠点となる
防災緑地が造られます。
人びとの交流により
町の賑わいをとり戻し、
ここから双葉八町村に春を呼びます!



◆ Present Tree(プレゼントツリー)とは?

「人生の記念日に樹を植えよう!」を合言葉に、大切な人や自分自身に記念樹を植えて、森林再生と地域振興につなげていくプロジェクトです。植栽地は、国内外にある荒廃林や植栽放棄地、台風や火災の被災林等森づくりが必要とされる土地。主に都市の人びとに苗木の里親になってもらい、その苗木を介して縁のできた中山間地域との交流人口を増やすことによって、森だけでなく地域も元気にしていきます。

植えた苗木には1本1本ナンバープレートが装着され、10年間森になるまで大切に育てます。苗木の里親になった方には、ナンバープレートの番号が記された「植林証明書」と贈り主からのメッセージカードが届きます。

Present Treeでは、北海道から九州まで国内22ヶ所・海外2ヶ所で森林保全や里山保全を目的とした森林再生プロジェクトを進めており、支援者数は約366万人、植栽本数は約12万本におよびます(いずれも累計、平成27年12月末現在)。認定NPO法人環境リレーションズ研究所では、今後も様々な理由で森づくりが必要とされている土地において、「プレゼント」を切り口に気軽に参加できるエコアクションを提供してまいります。また、個人、企業問わず、この活動に賛同いただける方を随時募集してまいります。

平成24年には岩手県宮古市、平成26年には宮城県大崎市において、東日本大震災被災地復興支援型森づくりとしてプロジェクトを開始し、都会の人びとの復興支援熱が冷めてしまった後でも、10年かけて当地の復興に寄り添えるPresent Treeは、地元からも大いに期待されています。

プレゼントツリー公式HP

<http://www.presenttree.jp>

「Present Tree in ひろの」紹介ページ

<http://www.presenttree.jp/lineup/lineup22.html>

※本件については、本日下記の記者クラブに資料を配布させていただいております。

・環境省記者クラブ



<添付資料>

- .「Present Tree in ひろの」リーフレットコピー

<参考資料>

- .商号：認定NPO法人環境リレーションズ研究所

■.役員構成：	理事長	鈴木敦子
	理事	金子篤史
	理事	原元利浩
	理事	中村則仁
	理事	鴨崎志保
	監事	渡辺パコ
	事務局長	平沢真実子

- .住所：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-27-4 大手町I・Tビル8階

- .電話：03-5283-8143 FAX：03-3296-8656

- .URL：http://www.env-r.com

■.設立：平成11年10月～任意団体としてスタート。平成15年9月、内閣府より認証を受け、全国展開を前提とした特定非営利活動法人となる。平成22年4月より、国税庁の認定を受け「認定NPO法人」となる。平成27年4月より、東京都の認定を受け「認定NPO法人」(※)となる。

- .業務協力先：公的機関、国立大学法人、森林組合、シンクタンク、環境調査企業、製造業等

※認定NPO法人とは

運営組織・事業活動が適正で公益の増進に寄与する団体として一定の要件を満たし、都道府県の認定を受けたNPO法人（平成24年4月より、国税庁長官による認定から、都道府県または政令指定都市が認定する制度に変更）。認定NPO法人への寄附者は税制上の優遇措置を受けることができます。

1. 個人が支出した認定NPO法人への寄附金に対する特別措置

個人が認定NPO法人に対し「特定非営利活動に係る事業に関する寄附」をした場合、特定寄附金とみなされ、寄附金控除（所得控除）又は税額控除のいずれかの控除を選択適用できます。

2. 法人が支出した認定NPO法人への寄附金に対する特例措置

法人が認定NPO法人に対し「特定非営利活動に係る事業に関する寄附」をした場合、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額が設けられています。一般寄附金と別枠分の寄附金が損金算入でき、この分は法人税に課税されません。

◆お問い合わせ先

「Present Tree」についてのお問い合わせ

認定NPO法人環境リレーションズ研究所 担当：平沢、田中

TEL: 03-5283-8143 e-mail: ptmail@presenttree.jp

